

取付に際して（イグニッションON時は、絶対にカブラーの抜き差しをしないで下さい。）

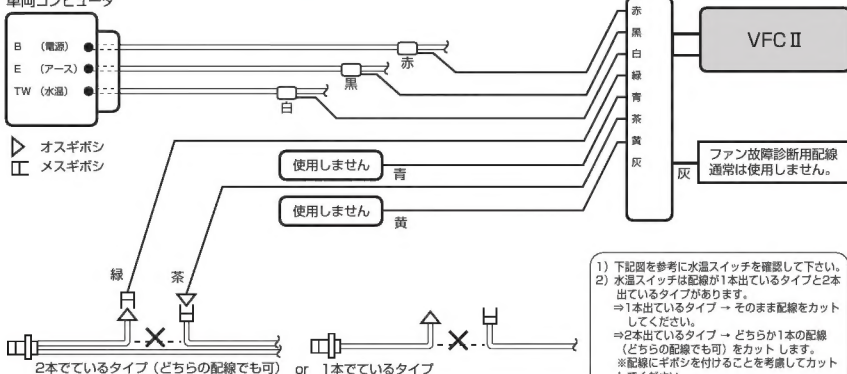
《取付方法》

1. エンジンを停止させ、取付に必要な配線等が見えるように内装類を慎重に取外して下さい。
2. ECU端子図は、P11以降の車種別図面を確認して下さい。
3. ECU端子図が正しいことを確認する為、サーキットテスターにて各部電圧チェックを行います。
B-E間電圧：12V～14V TW-E間電圧：0.2～2V（暖気時）
4. 下記取付図を参考に、本体取付を行って下さい。
5. 取付が完了したら、「初期設定」の頁を参考に設定を行って下さい。

配線方法 8

TOYOTA	EP82(MTのみ) AE92 AE101 AE111 ST202,5,6 JZA70,80(～H9/9ターボ車のみ) JZX90(NA) JZX100(ターボ車) JZZ30(ターボ車) JZS147(NA) AW11(S/C)
MAZDA	FC3S(前期) DAJPF(フェスティバ) JCESE(コスモ)

車両コンピュータ



- 1) 下記図を参考に水温スイッチを確認して下さい。
- 2) 水温スイッチは配線が1本出ているタイプと2本出ているタイプがあります。
⇒1本出ているタイプ → そのまま配線をカットして下さい。
⇒2本出ているタイプ → どちらか1本の配線 (どちらの配線でも可) をカットします。
※配線にギボシを付けることを考慮してカットして下さい。
- 3) カットした配線のそれぞれにギボシを使用して配線してください。

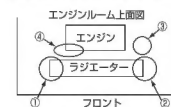
車名	型式	エンジン型式	年式	位置
カローラレジン/スプリンタートレールMR2(S/C)	AE92 AE101 AE111 AW11	4AG /4AGZ	S62/05～H3/06 H3/06～H7/04 H7/05～	① ② ③ ④
スターレット セリカ/カレン	EP82 ST202,6 ST205	4EF(T) 3SG 3SGT	H1/12～H7/12 ～H9/11	⑤ ① ① ①
スープラ	JZA70 JZA80	1JZGT 2JZGT	H2/8～H5/4 H5/5～	② ②
マークII/クレス ノチェイサー	JZX90 JZX100	1(2)JZGE 1JZGT	H4/10～H8/9 H8/9～	① ①
アリスト	JZS147	2JZGE	H3/10～H9/8	②
RX-7 コスモ フェスティバ	FC3S JCESE DAJPF	13BT 20B BJ	S60/9～H1/3 H2/2～ H4/4～	④ ④ ③

◎ 水温スイッチの確認

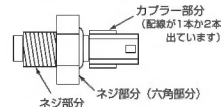
水温スイッチはイグニッションキーをONにしてスイッチのカブラーを抜くと電動ファンが回ります。この方法にて水温スイッチを確認して下さい。

◎ 水温スイッチ取付け場所

◎ 水温スイッチの形状



- ① ラジエーターロアタンク(2Pカブラー/どちらか1本の配線を加工)
- ② ラジエーターロアタンク(2Pカブラー/どちらか1本の配線を加工)
- ③ ラジエーターロアタンクのエンジン側付け根、サーモスタットカバー付近にあるセンサー(1Pカブラー)
- ④ サーモスタットケース上側(1Pカブラー)



【本体とハーネスの接続及び、固定】

- 配線が完了したら、接続、接触確認を行い、本体後方にカブラーを差し込んで下さい。
- P1・P2を参考に初期設定を行い、作動チェックを行って下さい。
- 本体・配線は、運転動作の妨げとならない様に両面テープ・束線バンド等にてしっかり固定して下さい。
※車内は異常に高温となる可能性があります。直射日光の当たる箇所に配置すると、思わぬトラブルを引き起こす危険性があります。
- 固定が完了したら、再びエンジンをかけて本体の作動チェックを行って下さい。
- 取付後、作動しない場合は、「トラブルシューティング」の頁をご参照下さい。